

Vol.19(2021) No.02(02/25)L08

BNT162b2 mRNA COVID-19ワクチン単回接種後の免疫原性に対する年齢、民族、性別、感染歴の影響：
2020年12月～2021年1月におけるイスラエル医療従事者のリアルワールドエビデンス

[Impact of age, ethnicity, sex and prior infection status on immunogenicity following a single dose of the BNT162b2 mRNA COVID-19 vaccine: real-world evidence from healthcare workers, Israel, December 2020 to January 2021](#)

Abu Jabal K, Ben-Amram H, Beiruti K, et al.

【Euro Surveill. 2021 Feb;26(6)】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

BNT162b2 mRNAのCOVID-19ワクチンは臨床試験で高い有効性を示したが、試験に組み入れられなかった集団についての観察データが必要である。本研究では、イスラエルの医療従事者514人を対象とし、初回接種から21日後の年齢、民族、性別、COVID-19感染歴の有無による免疫原性の違いを解析した。免疫原性は、民族、性別によらず同様であったが、年齢が増すにつれて低下した。感染歴を有する被験者の抗体価は、ワクチン接種前にIgG抗体が検出できたかどうかにかかわらず、感染歴のない被験者よりも1桁高い値を示した。